

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		福祉ボランティア育成・活動支援					所管	福祉部 福祉課	
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	177	計画事業名	福祉ボランティア育成・活動支援			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					[事業開始]		平成 20 年度
		[小 柱] (4)高齢者の地域での包括的な支援の仕組みづくり					[終了予定]		- 年度
		[施 策] ②介護予防・生活支援サービスの充実							
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕		社会福祉法人に対する助成の手続きに関する条例・同施行規則				
	事業対象	直接の対象 : 社会福祉協議会 最終的な対象 : 福祉ボランティアの支援を必要とする方							
	事業目的	社会福祉協議会の健全な発展と区内社会福祉事業の育成強化を図る。							
	事業内容 [29年度]	社会福祉協議会が実施する以下の福祉ボランティアの育成や活動支援等に係る事業費の一部を助成する。 ・はつらつサービス(在宅福祉サービス)事業 ・ボランティア活動推進事業 ・権利擁護センター事業							
委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績		
	活動指標	助成事業数	事業	3	3	3	3	3	100.0%
		成果指標	はつらつサービス協力会員数	人	280	256	259	274	270
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			39,812		38,202		42,460
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			1,203		2,229		2,933
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0
		総経費			39,813		38,202		42,460
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			41,016		40,431		45,393
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0
一般財源(区負担額)			16,329		15,496		17,677		
前回評価から29年度に改善した事項	ボランティア活動への関心や意欲を高め、活動の促進を図るため、はつらつサービスでボランティアポイント制度のモデル実施を開始した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを進めるために、地域住民が主体的に参加する福祉活動を推進する必要性は高い。						
	効率性	3	各種事業は充実した内容で実施されており、効率性に特段の変化はない。						
	手段の適切性	3	ボランティアに関する情報提供やネットワークの構築、啓発の機会創出、活動のサポートに努め、必要な支援を行っている。						
目的達成度	4	ボランティアポイント制度のモデル実施による効果もあり、はつらつサービス協力会員数は増加した。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性			
ボランティアポイント制度のモデル実施を開始したことで、はつらつサービス協力会員数の増加につながった。誰もが住み慣れた地域で自立した生活ができるよう支援するために、ボランティア活動についての普及啓発や定着支援の取り組みは欠くことができないものであり、今後も継続して実施していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	